

三面地域 まちづくり通信

三面地域まちづくり協議会

発行日 平成 26 年 3 月 31 日

E-mail: as.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp

URL (ホームページ) http://www.city.murakami.lg.jp/

Vol.5

ハイライト

- ・先進地視察研修に行ってきました。
- ・集落活性化支援助成金事業を紹介します。

地域のお宝再発見！地域資源調査

平成 25 年 10 月 20 日 (日) に布部集落の地域資源調査を行いました。雨天のため車で移動し、熊野神社、龍泉寺、鷲麻神社、妙童寺と神社・仏閣だけの調査となりました。天気が良ければ集落内を歩いて散策し、日ごろ気付かないようなお宝が発見できたのではないのでしょうか。次回の楽しみにしたいと思います。

□熊野神社七本杉

熊野神社の七本杉は、村上市指定文化財に登録されており、「株は一株で、約 2m 上方から 7 本の幹に分かれている。目通り周囲 16m30 cm、根元からの高さ 25m、樹齢 350 年から 500 年と推定される。」と説明されています。また朝日村の名木百選 (平成元年発行) に選定された大ケヤキなどの巨木が多数見られます。



七本杉

大ケヤキ

熊野神社七本杉は、メ縄を回らした神木で、立条性クマシギ系天然木として、学術的にも貴重である。他の 25 本のスギは約 350 年前、勸進の折植えたものと推定される。

熊野神社は、寛永 17 年 (1640) 当村丹善五郎が紀伊国熊野山より勸進と伝えられている。その他については不詳。

□龍泉寺のウラジロガシ

朝日村の名木百選によると、ウラジロガシは、暖地性のカシ類のなかで、最も寒さに耐える木で、岩船郡沿岸部が自生北限とされ、多雪地に、通直で完満に育っているウラジロガシとして貴重であるそうです。

□龍泉寺

創立 明暦 2 年 (1653) の秋 開山 利応存貞大和尚 開祖 不詳

当時の創建を遠く平安朝時代の真言宗寺院で、「瀧善山龍沢院」と称したと伝えられ、中世荒廃甚だしく一時無住のまま放置にせられてあったのを、明暦 2 年北蒲原郡蔵光村「香伝寺」11 世が、

曹洞宗に改めて再興したと伝えられる。当寺に一体の観音像がある。奈良時代より帰化し孝謙天皇の信任を得て大和薬師寺の開山となった鑑真和尚が、揚州龍興寺より携行したと伝えられ、最初九州福岡に安置せられ、その後越後江沢に安置されて、上杉謙信深く信仰したと伝えられ、それが縁あって当寺に移り村上城主歴代の尊崇厚かったと伝えられる見事な木彫仏である。

□鷲麻神社

創立 至徳 2 乙丑・元中 2 年 (1385) 祭神 天日鷲命 合殿 河内神社、熊野神社、神明社、八坂神社、多伎神社、山神社

主神鷲麻神社は至徳 2 年 (1385) 布部城が平の城主市河次郎が岩前村鷲巢の峯より勸進し、鷲巢大権現と称した。延享 2 年 (1745) 5 月神祇管領吉田殿において鷲麻神社と改称。社家は横山

氏が勤め、現存する最も早い免許状 (横山文書) は寛永 16 年 (1639) のものである。永正元年 (1504) 6 月再建。宝永 4 年 (1707) 5 月再建。明治 12 年 6 月再建

□妙童寺

創立 至徳 2 年 (1385) 開山 海応寿山大和尚 開祖 無庵宗悟大和尚 山嶽仏教の盛んなころ「鷲霊峯松祈瀆庵」と号した。真言宗で小揚にあったとの伝説がある。「鷲霊峰」の扁額が今も本堂に懸けられている。それが煌々たる明月の夜、美しい童子の姿に化身した観世音菩薩の導きで、今の地に寺を移したという。その物語から月夜山妙童寺の名が伝えられている。



地域資源とは、自然、観光施設、農林水産物や特産品をはじめ、人や伝統の技・技術など地域の特徴的なものの総称です。

説明につきましては、朝日村史 (昭和 55 年発行) より引用させていただきます。

集落活性化支援助成金事業を紹介します

協議会では、三面地域内の集落、複数の集落の連合体及び集落内で活動する団体が行う市民協働のまちづくりを推進する事業に対し支援を行っています。助成金の額は事業費の2分の1、上限50,000円とし、協議会予算の範囲内で助成しています。今年度は10集落17事業に対し助成金を交付することとしています。

集落活性化支援助成金事業一覧

集落	事業内容	金額
岩前	世代交流運動会(8月25日) 公民館前広場で運動会を実施。終了後パーベキューにより世代交流を深めた。	25,000
	区敬老会(9月15日) 婦人会、役員により祝賀会を開催	30,000
荃太	盆踊り櫓作製(~8月14日) 千縄区と協力して盆踊りの櫓作製	50,000
	盆踊り櫓作製(~8月14日) 荃太区と協力して盆踊りの櫓作製	50,000
新屋	ニジマスのつかみ取り大会(8月11日) 三面川に網を張った生簀でのニジマスのつかみ取りとパーベキューを実施	20,000
	親睦日帰り研修旅行(10月13日) 仙台方面への研修旅行を実施	50,000
中新保	農業収穫祭(10月20日) 農業の話聞きながら収穫した新米や野菜で料理を作り収穫に感謝する。	15,000
	古文書整理事業(~3月12日) H24に解読した古文書の追加調査	20,000
堀野	納涼祭(8月10日) パーベキューや花火など実施	19,000
	斉の神(1月19日予定) 斉の神を祭って無病息災を祈願する。	8,000
石住	集落旅行(7月14日) 粟島への研修旅行を実施	39,000
	どんど焼き(1月19日予定) どんど焼きとお楽しみ会の実施。	11,000
上中島	地藏様まつり(7月23日) 模擬店による縁日を実施	10,000
	どんど焼き(1月13日) どんど焼きと豚汁等の提供	14,000
布部	地藏様まつり(7月23日) 竹燈籠の制作・設置と模擬店による縁日を実施	50,000
	どんど焼き(1月13日) どんど焼きとお神酒や豚汁を振る舞う。	50,000
猿田	ホタル増殖計画(~8月25日) ホタルが生息している水路の泥を上げ、砂利を敷いてホタルの増殖を図る。	35,000
10集落	17事業	496,000

□中新保古文書整理事業

平成24年度に引き続き、庄屋、区長が代々受け継いできた古文書等を解読・整理しました。また解読した古文書の裏付け調査と史跡や自然林などを調査し記録しました。



□堀野斉の神

竹やワラ等で斉の神をつくり、地域の無病息災を祈りました。広場での催しを終えた後は、集落センターにおいて住民の半数以上が参加しての親睦会を行いました。



□石住どんど焼き

毎年、1月15日前後に行っています。大人から子どもまで30人以上が参加しました。どんど焼き終了後は、集落開発センターでビンゴなどお楽しみ会を開催しました。



□上中島どんど焼き

集落の小中学校PTAの女性を中心となって作ったアツアツの豚汁やおしろこ、またお菓子やみかんが参加した約40人に振る舞われました。



□布部どんど焼き

布部全戸から回収した門松、注連縄、わら、杉葉などを納めて焚き上げました。火が収まったところで、餅やずめめなどを焼き、「五穀豊穡・商売繁盛・無病息災・家内安全・書道の上達」を祈願しました。また参加した約80人にお神酒や豚汁を振る舞いました。



※前号(1月15日発行)につづき、集落活性化支援助成金事業を紹介し、小正月の風物詩どんど焼きが多く集落で行われました。

2年間のまちづくり活動に参加して

□本間進二（会長 布部）

早春の候、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。三面地域まちづくり協議会発足以来、皆様よりたくさんの貴重な御意見やときには御批判もいただき誠にありがとうございました。これまで三面太鼓の楽譜づくりを依頼し、小学校の子ども達に新たな息吹を奏でたり、三面地域大運動会では交流部会をはじめ役員一同仕事の合間に試行錯誤しながら努力いただき感謝に堪えません。また地域の清掃活動や自然環境の保全、各地域の歴史探索や安心安全なまちづくりをモットーに地域の活性化に向けた取り組みの方向性について考えてまいりました。今後の活動として、定住交流人口の拡大や雇用産業の創出、郷育のまち三面、魅力ある三面づくりに貢献したいと考えております。これからも多くの方々に参加いただき、三面地域の現状をもう一度考えてみようではありませんか。最後に皆様の御協力と御支援を賜りますようお願い申し上げます。



三面太鼓の楽譜を書いていた仁平先生（左）が率いる管弦楽団「ヴィヴァーチェ」には、平成26年10月19日三面小学校文化祭で公演していただきました。

□本間利廣（副会長 岩崩）

三面地域まちづくり事業の中で大運動会と鷲ヶ巣登山道の整備が印象に残っています。大運動会は、同じ地域に住んでいても会う機会が少ないので、交流ができて楽しい1日でした。鷲ヶ巣登山道の整備は、作業は大変でしたが無事に終わると達成感が感じられ、その後の話はずみしました。事業を通して地域交流の大切さ、地域の活性化を考える機会に参加することができ良かったです。これからも地域の活性化のために、三面地域の交流がますます盛んになることを願っています。



□板垣俊和（事務局長 上中島）

三面地域の活性化のために、少しでもお役に立てればとの思いで、協議会に参加させていただきました。一つ一つの事業が初めての試みであり、また地域のみなさんの手作りで行われております。特に三面地域大運動会&交流会は、老若男女日頃会うことの少ない人達と同じ競技に汗をかきながら、楽しいひと時を過ごしていただけたと思います。終了後の交流会では、一献傾けながら



三面地域のこれからのまちづくりについて議論を交わし、次への活力になったことと思います。これからのまちづくりについて、三面地域は自然が豊かで山あり川あり歴史あり、自然にあるものをもっと有効に活用し、誰でも楽しく気軽に参加できるように雰囲気づくりに心掛けていただければ幸いです。引き続き

き、今後ともみなさんの温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

□石栗芳昭（環境部会 石住）

まちづくり協議会の環境部会の役員として関わらせていただきました。自分の集落に関わっていると、今後は各集落単位ではなく三面地域での団結が必要なのではないか？というの自分でも前々からなんとなく思っていました。でもそのためには具体的にどうすれば良いのか？を考えさせられた2年でした。まちづくり協議会で各集落のみなさんと知り合い、活動してきたことは自分にとって良い経験になったと思います。



□田村吉雄（交流部会 千縄）



みなさんのご協力のもとに2年間交流部長を務めさせていただきました。本当にありがとうございました。地域のみなさんが三面地域に住んで良かったと思うことができるように、住民の交流を深めようと活動してきました。一大イベントして「地域大運動会」を開催し、午後からはバーベキューを囲みながら、老若男女170人超が大変盛り上がりしました。今後住民のみなさんの一層のご理解とご協力のもと、より良い活動ができるよう期待しております。

□佐藤正利（交流部会 荃太）

三面地域まちづくりに参加させていただきましたが、どんなことをしたらいいのか分からず、試行錯誤しながら何とかやってこられたのも、各集落の区長さん、市の担当者はじめ関係各位、そして地域のみなさんのご協力のおかげだと感謝申し上げます。さて、その中で大運動会&大交流会は、当日雨で荃太体育館に会場を変更して開催しましたが、プログラムどおり種目が実施できるか、大勢の人が参加してくださるのか不安でしたが、無事やり終えたときは、母校の体育館でもあり感無量で、ここで開催して良かったと思いました。また地域のまちづくりの活動も少しずつみなさんに理解されてきていると感じています。



□高橋章平（交流部会 中新保）

平成24年4月から2年間協議会役員として、微力ながらお手伝いさせていただきました。交流部会の一員として地域住民全体が参加する運動会が主な事業でした。どうしたら多勢の住民に参加してもらえるか、意見を出し合い不安いっぱいながら開催することができました。地域のみなさんが集落をこえ笑顔で楽しく交流を深めることができたと思います。新年度からは一住民として三面地域がますます活性化し発展できま



新年度からは一住民として三面地域がますます活性化し発展できま

わがふるさと集落自慢

このコーナーでは各集落のお宝や名人、伝統などなど集落自慢を紹介しします。今回は石住区と上中島区です。

◇石住区 若者から年配者まで一緒に活動しています！

昨年も7月14日親子20名の参加を得て粟島へ研修視察を実施し、島での暮らしや地域活性化の努力を学び、行き帰りの船内や島で親睦を図りながらまちづくりの構想を練り、とても有意義な結果が得られました。当集落は戸数の割に家々が離れていて県道沿いにはあまり家が建っていないことから車道と歩道が良く見渡せます。その歩道に花を植えたプランターを並べ



て、夏の間行き交う方をまかせています。これには水分の補給が大事で全員で順番を決めて水くれを実施しています。また1月に毎年どんどこ焼きを実施しており、「石友会」のメンバーが主力となって早

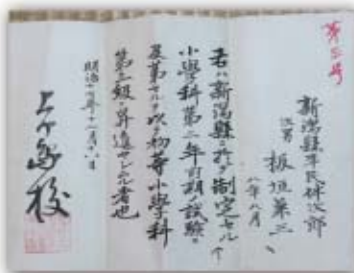


朝から準備をして、子どもから大人まで竹にするめを挟んで焼いたりし、終了後は公民館で親睦を図っています。

(石住 石栗平蔵)

◇上中島区 大庄屋板垣家が残す歴史の数々

上中島には大庄屋板垣家があり、明治5年板垣伴次郎氏が邸宅で寺子屋を開いていたのを上中島小学校として改称したのが朝日地区で最初の小学校であり、三面小学校の前身です。また上中島の河原はとても広いです。その昔、字中島に板垣家の牧場があり何十頭もの馬が飼われていたそうです。その名残なの



か上中島の農耕には牛ではなく馬が使われ、近年まで数軒で馬が飼われていたようです。

さて板垣家は徳川時代に漆の集材で財をなしたそうで、屋号は「漆園」というそうです。漆



の運搬に多くの馬が必要だったこともあり牧場があったのではないかというお話でした。また殿様に献上する馬の条件が書かれた文書も残っており、
牧場で飼育された馬が献上もされたようです。京都・大阪までの道中、行きは馬が狼に襲われないよう松明をかざして運



献上一卷之書(慶長11年)

び、帰りは漆を売った大金を持っているので、山賊に襲われないよう武士に扮して行き来したそうです。余談ですが、京都の料亭には越後の漆園様の唄があるそうです。

板垣家には多くの貴重な書類が残っており、今後のまちづくりに役立つのであればご協力いただけるとのことでした。我が集落はもとより地域の自慢になるものだと思います。

(上中島 五十嵐忠幸)

集落豆知識

石住…慶長二年の国絵図には、いしづみと記され永正六年九月六日の耕雲禅寺寺領之納帳には石墨と記されている。石墨高橋左衛門三郎の名主のもとに五百地の田が無役とされている。石住は大国と鮎川の知行下にあった。石住村をめぐる知行関係は複雑で室町時代から徳川時代を通じて他の部落と違った関係におかれた。米沢藩預所が塩野町に出来ると、石住、石栗新田、堀野、中新保、荒屋、釜杭の地など三面川左岸の地が米沢藩預所になる。

上中島…上中島はもと水野村と上中島の二部落からなり、水野村は低地であったため、中条の本郷に移住した。しかし鷲ヶ栗山の見えるところであるので、鷲ヶ栗十二光仏の二体を奉遷している。上中島は中新保と同じく三面川の右岸にあったが、いまは左岸にある。三面川の氾濫で瀬が前後にかわる文字通りの中島であった。明治九年上中島に合併されるまで水野村は存在。

(昭和55年発行 朝日村史より)

協議会からのお知らせ

平成26年4月17日(木)午後7時から布部集落センターにおいて、三面地域まちづくり協議会定期総会を開催します。各集落の代議員の方はご出席くださるようお願いいたします。なお、総会終了後、懇親会も行いますのであわせてご参加ください。また、まちづくりに興味のある方、まちづくりに参加したいという方は、協議会役員または事務局までご連絡ください。一緒により良い三面地域にしましょう！



日本中を感動させたソチ冬季五輪も終わりが過ぎます。中でも日本人初メダリストとなったスノーボードハーフパイプ平野歩夢選手は、全国に村上の名前を発信してくれました。彼の技の原動力となったのが瀬波温泉地内に作られたスケートボード場だということはもうみなさんご承知のことだと思います。我々まちづくり協議会としても限られた予算の中ではありますが、地域の活性化、若者にも興味を持ってもらえるような活動をやっていきたいと思っています。(堀野 貝沼一夫)